

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390101933		
法人名	株式会社 メディウエル		
事業所名	グループホーム 西大寺中央 (すずらん)		
所在地	岡山県岡山市東区松新町16-1		
自己評価作成日	平成 30 年 1 月 15 日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&idgyosyoCd=3390101933-00&PrefCd=33&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社アウルメディカルサービス
所在地	岡山市北区岩井二丁目2-18
訪問調査日	平成 30 年 2 月 14 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・食事は利用者様にとって楽しみの一つであると考え、温かくて美味しい手作りの食事を提供しています。栄養士の立てた献立を参考に、メニュー作り、買い物、調理まで利用者様と一緒に楽しみながら行っています。また、食を通じて季節を感じて頂けるように、季節や行事にちなんだおやつや食事を取り入れています。 ・買い物やドライブ、リクエストのある場所など、その方が喜んでくれそうなところへ行けるよう外出支援に力を入れています。 ・日当たり良好なりビングや居室で利用者様は思い思いに過ごされています。穏やかにゆったりと過ごして頂けるよう、安心・安全に過ごして頂けるよう心掛けています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>ユニット毎に調理専門の職員が配置され、管理栄養士が作成した献立を基にアレンジしたり、利用者の状態に合わせて形態を変化させたりしながら、食事が楽しみとなるよう工夫している。また、利用者と一緒に食材の買い出しから調理・食事に至るまで、利用者のペースに合わせた支援に取り組んでいる。釣りや結婚式への参加など、利用者から出た希望や要望は職員間で話し合い、家族と協力しながら出来るだけ叶えられる様に努めており、利用者が落ち着いて穏やかに生活を送ることが出来ている要因の一つである。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	皆で話し合い決めた理念を事務所、ロッカールーム等、毎日、目に入る場所に掲示し、実践につなげています。	理念は職員全員で考え、話し合っで作られたものであり、職員に全員に周知されている。事務所・ロッカールームに掲示し、個々に配布している。日々の会話を通じて振り返っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	民生委員の方と交流を深めたり、利用している散髪屋さんとは、利用者様も会話が弾む程、交流が続いている。地域の保育園に定期的に慰問に来て頂き、交流を深めています。	年2回保育園児の訪問がある。町内会に加入しており、地域行事の案内や交流もある。地元の散髪屋さんとの交流が深く、訪問してくれることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩や買い物時に積極的に近所の方に話しかけ、ホームの事、利用者様の事を理解して頂ける様、努めております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区の民生委員、地域包括の担当者、近所の施設の施設長、利用者様のご家族等に参加して頂き、ホームからの様子報告、皆様からのご意見を頂き、サービスの向上に生かすようにしております。	民生委員や地域包括、近隣施設の施設長、家族代表者が出席して、2ヶ月に1度定期的に開催している。町内行事の案内や事業所内での様子などが話し合われている。	家族全員へ参加案内や声かけなどの取り組みに期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に地域包括の方が参加して下さり、その折に、ホームの取り組みをお伝えしております。	管理者が主となり、電話やファクスで分からない事や事故報告などを行っている。市主催の研修会には積極的に参加し、持ち帰った内容をミーティング内で発表している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職場内の勉強会で拘束をしないケア、不適切ケアについて学ぶ・考える機会を設けています。施錠はもちろん、身体拘束をしないケアに努めております。	玄関の施錠は夜間のみ行っている。年1回の内部研修では身体拘束に関わる資料や実例を基に全職員が参加して行われている。スピーチロックに関しては職員間で注意し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場内の勉強会で虐待、不適切ケアについて学ぶ考える機会を設けています。関連のニュース、報道等があった時には、スタッフ間で話し合う等、日頃より意識したケアにあたっております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に制度を利用されている方がいらっしゃるが、詳しいことまで理解出来ていないのが現状と思われる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な説明と、家族の思いをお尋ねするようにしております。入居に関しては家族だけでなく、出来るだけご本人の納得も得るようにしております。改定時には、文章でお伝えし、捺印を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時に、入居者様の様子や状況をお伝えする様にしております。その際は、ご家族の思いや要望等も伺うように努めております。	家族は面会時に、利用者は日常生活から意見や要望を聞き取っている。出た意見は、釣りやカラオケ、結婚式の参加等に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り、月1回のミーティングの中でスタッフ同士が自由に意見交換できる場を設けています。皆で相談・話し合ったことを業務に生かしております。年2回、社長との面談があり、個々の意見や要望を聞いてもらえる機会があります。	代表者や管理者に対して、職員が気軽に相談できる環境が整っている。出た意見は、誕生日外出や行事、おやつなどに反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定時の業務終了に皆で努めております。各自の勤務希望(休み希望)を最大限尊重しております。時間外の申告もしやすく、また、定期的に給与の見直しもして頂いています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士、ケアマネージャー等の資格取得を奨励し、勤務の配慮をしています。段階に応じて、外部研修に行く機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	この1年は、交流の機会はありませんでしたが、今後は、定期的に体験実習(他のグループホーム)へ行かせて頂く予定があります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所当初は、環境変化により、不安があると思うので、本人様の思いを傾聴し、寄り添う。より手厚く関わり信頼関係を築き、スタッフや他入居者様と一日も早く馴染みの関係が出来、安心してホームで過ごして頂けるように支援させていただきます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いを傾聴し、入所当初はちょっとした事でも連絡をさせて頂くことで信頼関係を築けるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人、担当ケアマネージャー等と十分な話し合いをし、また実際に面談をさせて頂き、必要な支援の見極めをさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のできる事、意欲を見極め、ご負担にならない程度の日常のお手伝いをお願いしております。その際には必ずお礼の言葉を伝えるようにしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族との関係、つながりを大切にしながら来訪時には利用者様の様子をお伝えしています。外出にご家族様も一緒に参加して頂けることもあります。ご本人とご家族とのパイプ役になれるよう心掛けております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室に馴染みの家具や物を置いたり、ドライブのコースに懐かしい場所を設定したり思い出の人や物、場所を大切にできるように支援させて頂いております。電話支援、来客者対応を一緒にさせて頂き、なじみの人との繋がりが途切れない様に支援させて頂いております。	3ヶ月に一回職員と一緒に馴染みの美容院に行き続けている利用者や、家族と一緒に墓参りや銀行に出かける利用者があり、一人ひとりの生活習慣に沿った支援をしている。また、ドライブがてら前職場を見に行くなどの支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立しないように、相性やその方の性格にも配慮し、会話や共同作業等で利用者様同士の関わり合いの支援をしております。1階、2階の利用者様同士の交流支援もしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了が関係の終了でなく、退居後もいつでも相談して頂けることをお伝えしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話から、ご本人の食べたい物、行きたい所、やりたいこと等の思いや希望を把握できるよう努めております。	個別対応時に言葉かけし、把握に努めている。また、表情や仕草で読み取ることもある。困難な場合は、家族や居宅時代の看護師やケアマネジャーなどから確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やソーシャルワーカー等、ご本人と関わりのある方からの情報やバックグラウンドから生活歴や環境等の把握を行い、さらには入居後のご本人との談話の中からより深く知るようしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	会話時の表情等から体調や気分の変化を把握し、介護記録や申し送り等で情報の共有をしております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的または状況変化に応じてモニタリングを行い、ケアプランの作成を行っております。ご本人がより良く暮らして頂けるよう、ご本人やご家族のご意見を伺いながらプランの作成に努めております。	担当職員を中心に、ミーティングの中でケアプランについて話し合っている。ミーティングに参加できない職員は「気付きシート」を作成・提出している。モニタリングは担当職員が6ヶ月毎に行い、見直しは状態変化があれば、その都度行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を介護記録、業務日誌に個別に記録し、申し送りで情報の共有をしております。ご本人の言葉は詳細に記録するようしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時その時で皆で話し合い、アイデアを出し合い、柔軟な支援につながるよう努めております。 例)お孫様の結婚式付き添い、葬儀の送迎など支援しました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族の協力も得ながら、ご本人の生活が豊かになるよう支援させて頂きたいと思っております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望があれば個々に希望の医療機関へ受診して頂いております。いつでも受診できるよう関係医療機関と連携しております。	かかりつけ医の継続は可能であるが、大半の利用者は協力医に変更している。協力医による2週間に1度の定期往診や、週1回の訪問看護を受け入れている。受診が必要な時は職員が送迎し、家族が同伴することもある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師はおりませんが、週1の訪問看護時に情報や気づきを相談、医師へ伝えて頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にはホームでの様子・情報をご家族のご理解の上、病院へ提供しております。また、定期的に病院関係者へ連絡を取り、病状把握や退院のめど等情報を頂けるよう努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期を迎えた利用者様のご家族へは医師の方から病状説明をして頂いた上で十分に話し合いをし、考えて頂き、方針の決定ができるよう支援させて頂いております。スタッフは方針に沿い、出来る限りの支援を行うようにしております。	終末期の治療方針や病状を主治医から家族に説明し、同意を得ている。全職員が看取りに対応できるよう、年1回外部講師を招いて勉強会を行っている。また、外部研修に参加し、ミーティングや申し送りの中で周知している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応マニュアルを作成し備えております。事例があった後や、勉強会で対応方法の確認をし実践力が身に付くよう努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災だけでなく、水害・地震を想定しての避難訓練を行っております。勉強会ではホームの立地場所の確認をし、どんな災害が想定されるか確認しました。	年2回、夜間想定の下、利用者も参加して避難訓練を行っている。水害時の避難経路の確認を行ったり、災害時のDVDや資料を使って研修したりしている。備蓄品は事業所内に保管してある。	消防署の立ち合いによる訓練や地域の人の参加に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳と礼儀、その方を大切に思う気持ちを忘れず、一人ひとりを尊重した接し方を心がけております。	誘導時、声の大きさに配慮したり、耳が聞こえにくい利用者には紙に書いて伝えたりするなど工夫している。申し送りの時、個人情報周囲に聞こえないよう配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が思いや希望を言いやすいよう、また選択しやすい声掛け、雰囲気作りに努めております。ご本人の言葉や表情から思いをくみ取れるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し、柔軟な対応に努めております。起床や食事の時間をずらすこともありますし、入浴もご本人様の気持ち、体調等を考慮し支援させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常の整容に気を配り、さりげなくお手伝いをさせて頂いております。ご本人様が着たい服を選べるよう支援させて頂いております。ファッション関係の広告を一緒に見て楽しむ時間も設けています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を話題にしたり、食べたい物を聞いたりメニューも一緒に考え、食事が楽しみなものになるよう努めております。味見をして頂いたり、簡単な調理手伝いをして頂くこともあります。	できるだけ利用者と一緒に近くのスーパーへ食材を買いに出かけている。利用者と職員は同じテーブルで同じ物を一緒に食べている。管理栄養士が作成した献立にアレンジを加えたり、利用者に合わせて形態を変えたりしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に適した食事量、形態でお出ししております。食が細かい方へは好みの物や食べやすい物をお出しする等、個別に対応させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声を掛けさせて頂き、必要な方へは見守りや介助等し、清潔が保てるよう支援させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用い、個々の排泄パターンを把握し、また仕草や表情等から排泄サインを見逃さないようにし、個々のタイミングでトイレでの排泄が出来るよう支援に努めております。	個々の排泄パターンを把握し、日中はほぼ全員がトイレで排泄を行っている。入居時から比較して改善した例もある。ポータブルトイレは夜間のみ使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	海藻類や野菜等の食物繊維を食事に盛り込み自然な排便が出来るよう支援させて頂いております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日に関係なく、入浴支援しております。利用者様のペースを大切に、無理なお誘いはせず、気持ちよく入浴して頂けるよう心掛けております。	一日おきに入浴支援を行っている。入浴を嫌がる場合は、個々に合わせて時間や曜日、職員を変えて対応している。入浴剤や季節湯(ゆず湯)など、楽しんで入浴できる様に工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体力を考慮し、午睡の時間を設けたりソファに横になる等、その方にとって最適な休息時間がとれるよう心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情書から服用されている薬の情報を得、常に個々の服薬情報の把握に努めております。薬剤師と密に連携し、情報交換させて頂いております。服薬時には声に出して名前・日付等を確認し、誤薬のないよう気を付けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の興味のあること、出来ることに目を向け無理のない程度に活動ができるよう支援させて頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物、カラオケ、ドライブ等、その方が喜んでくれそうなプランをスタッフ皆で考え、外出支援に努めております。	家族と一緒にドライブに出かけたり、職員と一緒に買い物に出かけたりしている。利用者や家族から出た意見や希望を参考に、各利用者に合わせた外出支援を計画・実行している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持を希望される方にはご家族了承の上所持して頂いております。買い物に行った際には支払い支援をしながらご本人に支払いをして頂くよう心掛けております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、年賀状や手紙のやりとりができるよう支援させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにソファを配置しどなたでもゆったりとくつろいで頂ける空間を作っております。窓からは山が見えます。飛んでいる鳥を眺めたり空を眺めたり、プランターの花を眺めたり季節を感じて頂けるようになっております。	リビングには家庭的な家具が配置され、さりげなく季節が感じられるよう、利用者に配慮した作品が掲示されている。また、リビング内は綺麗に整理整頓され、利用者が安全に移動できるよう動線にも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの他、椅子もいくつか配置しておりますので皆さん思い思いの場所で過ごされています。居室で過ごされる方もおられ、皆さん自由に過ごしておられます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込まれ、各々個性のある部屋になっており、扉を開けるとご自分の部屋であると認識されます。皆さんご自分の居室で落ち着いて過ごされております。	馴染みの布団や使い慣れた化粧品などが持ち込まれ、個々に合わせた落ち着いた居室になっている。ベッドを無くして、畳の部屋にすることも可能であり、利用者が居心地良く生活できる様に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒防止等、安全に配慮し家具の配置を考えております。居室やトイレには分かりやすいようにプレートが掛けてあります。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3390101933		
法人名	株式会社 メディウエル		
事業所名	グループホーム 西大寺中央 (ひまわり)		
所在地	岡山県岡山市東区松新町16-1		
自己評価作成日	平成 30 年 1 月 15 日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/33/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=3390101933-00&PrefCd=33&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社アウルメディカルサービス
所在地	岡山市北区岩井二丁目2-18
訪問調査日	平成 30 年 2 月 14 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・食事は利用者様にとって楽しみの一つであると考え、温かくて美味しい手作りの食事を提供しています。栄養士の立てた献立を参考に、メニュー作り、買い物、調理まで利用者様と一緒に楽しみながら行っています。また、食を通じて季節を感じて頂けるように、季節や行事にちなんだおやつや食事を取り入れています。 ・買い物やドライブ、リクエストのある場所など、その方が喜んでくれそうなところへ行けるよう外出支援に力を入れています。 ・日当たり良好なりビングや居室で利用者様は思い思いに過ごされています。穏やかにゆったりと過ごして頂けるよう、安心・安全に過ごして頂けるよう心掛けています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>ユニット毎に調理専門の職員が配置され、管理栄養士が作成した献立を基にアレンジしたり、利用者の状態に合わせて形態を変化させたりしながら、食事が楽しみとなるよう工夫している。また、利用者と一緒に食材の買い出しから調理・食事に至るまで、利用者のペースに合わせた支援に取り組んでいる。釣りや結婚式への参加など、利用者から出た希望や要望は職員間で話し合い、家族と協力しながら出来るだけ叶えられる様に努めており、利用者が落ち着いて穏やかに生活を送ることが出来ている要因の一つである。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	皆で話し合い決めた理念を事務所、ロッカールーム等、毎日、目に入る場所に掲示し、実践につなげています。	理念は職員全員で考え、話し合っで作られたものであり、職員に全員に周知されている。事務所・ロッカールームに掲示し、個々に配布している。日々の会話を通じて振り返っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	民生委員の方と交流を深めたり、利用している散髪屋さんとは、利用者様も会話が弾む程、交流が続いている。地域の保育園に定期的に慰問に来て頂き、交流を深めています。	年2回保育園児の訪問がある。町内会に加入しており、地域行事の案内や交流もある。地元の散髪屋さんとの交流が深く、訪問してくれることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	散歩や買い物時に積極的に近所の方に話しかけ、ホームの事、利用者様の事を理解して頂ける様、努めております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地区の民生委員、地域包括の担当者、近所の施設の施設長、利用者様のご家族等に参加して頂き、ホームからの様子報告、皆様からのご意見を頂き、サービスの向上に生かすようにしております。	民生委員や地域包括、近隣施設の施設長、家族代表者が出席して、2ヶ月に1度定期的に開催している。町内行事の案内や事業所内での様子などが話し合われている。	家族全員へ参加案内や声かけなどの取り組みに期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に地域包括の方が参加して下さり、その折に、ホームの取り組みをお伝えしております。	管理者が主となり、電話やファクスで分からない事や事故報告などを行っている。市主催の研修会には積極的に参加し、持ち帰った内容をミーティング内で発表している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職場内の勉強会で拘束をしないケア、不適切ケアについて学ぶ・考える機会を設けています。施錠はもちろん、身体拘束をしないケアに努めております。	玄関の施錠は夜間のみ行っている。年1回の内部研修では身体拘束に関わる資料や実例を基に全職員が参加して行われている。スピーチロックに関しては職員間で注意し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職場内の勉強会で虐待、不適切ケアについて学ぶ考える機会を設けています。関連のニュース、報道等があった時には、スタッフ間で話し合う等、日頃より意識したケアにあたっております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	実際に制度を利用されている方がいらっしゃるが、詳しいことまで理解出来ていないのが現状と思われる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な説明と、家族の思いをお尋ねするようにしております。入居に関しては家族だけでなく、出来るだけご本人の納得も得るようにしております。改定時には、文章でお伝えし、捺印を頂いています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の来訪時に、入居者様の様子や状況をお伝えする様にしております。その際は、ご家族の思いや要望等も伺うように努めております。	家族は面会時に、利用者は日常生活から意見や要望を聞き取っている。出た意見は、釣りやカラオケ、結婚式の参加等に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り、月1回のミーティングの中でスタッフ同士が自由に意見交換できる場を設けています。皆で相談・話し合ったことを業務に生かしております。年2回、社長との面談があり、個々の意見や要望を聞いてもらえる機会があります。	代表者や管理者に対して、職員が気軽に相談できる環境が整っている。出た意見は、誕生日外出や行事、おやつなどに反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定時の業務終了に皆で努めております。各自の勤務希望(休み希望)を最大限尊重しております。時間外の申告もしやすく、また、定期的に給与の見直しもして頂いています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士、ケアマネージャー等の資格取得を奨励し、勤務の配慮をしています。段階に応じて、外部研修に行く機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	この1年は、交流の機会はありませんでしたが、今後は、定期的に体験実習(他のグループホーム)へ行かせて頂く予定があります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所当初は、環境変化により、不安があると思うので、本人様の思いを傾聴し、寄り添う。より手厚く関わり信頼関係を築き、スタッフや他入居者様と一日も早く馴染みの関係が出来、安心してホームで過ごして頂けるように支援させていただきます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の思いを傾聴し、入所当初はちょっとした事でも連絡をさせて頂くことで信頼関係を築けるように努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人、担当ケアマネージャー等と十分な話し合いをし、また実際に面談をさせて頂き、必要な支援の見極めをさせて頂いております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のできること、意欲を見極め、ご負担にならない程度のお手伝いをお願いしております。その際には必ずお礼の言葉を伝えるようにしております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族との関係、つながりを大切にしながら、来訪時には利用者様の様子をお伝えしています。外出にご家族様も一緒に参加して頂けることもあります。ご本人とご家族とのパイプ役になれるよう心掛けております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	居室に馴染みの家具や物を置いたり、ドライブのコースに懐かしい場所を設定したり思い出の人や物、場所を大切にできるように支援させて頂いております。電話支援、来客者対応と一緒にさせて頂き、なじみの人との繋がりが途切れない様に支援させて頂いております。	3ヶ月に一回職員と一緒に馴染みの美容院に行き続けている利用者や、家族と一緒に墓参りや銀行に出かける利用者があり、一人ひとりの生活習慣に沿った支援をしている。また、ドライブがてら前職場を見に行くなどの支援もしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立しないように、相性やその方の性格にも配慮し、会話や共同作業等で利用者様同士の関わり合いの支援をしております。1階、2階の利用者様同士の交流支援もしております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約の終了が関係の終了でなく、退居後もいつでも相談して頂けることをお伝えしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の会話から、ご本人の食べたい物、行きたい所、やりたいこと等の思いや希望を把握できるよう努めております。	個別対応時に言葉かけし、把握に努めている。また、表情や仕草で読み取ることもある。困難な場合は、家族や居宅時代の看護師やケアマネジャーなどから確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族やソーシャルワーカー等、ご本人と関わりのある方からの情報やバックグラウンドから生活歴や環境等の把握を行い、さらには入居後のご本人との談話の中からより深く知るようにしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	会話時の表情等から体調や気分の変化を把握し、介護記録や申し送り等で情報の共有をしております		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的または状況変化に応じてモニタリングを行い、ケアプランの作成を行っております。ご本人がより良く暮らして頂けるよう、ご本人やご家族のご意見を伺いながらプランの作成に努めております。	担当職員を中心に、ミーティングの中でケアプランについて話し合っている。ミーティングに参加できない職員は「気付きシート」を作成・提出している。モニタリングは担当職員が6ヶ月毎に行い、見直しは状態変化があれば、その都度行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の様子を介護記録、業務日誌に個別に記録し、申し送りで情報の共有をしております。ご本人の言葉は詳細に記録するようにしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時その時で皆で話し合い、アイデアを出し合い、柔軟な支援につながるよう努めております。 例)お孫様の結婚式付き添い、葬儀の送迎など支援しました。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご家族の協力も得ながら、ご本人の生活が豊かになるよう支援させて頂きたいと思っております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望があれば個々に希望の医療機関へ受診して頂いております。いつでも受診できるよう関係医療機関と連携しております。	かかりつけ医の継続は可能であるが、大半の利用者は協力医に変更している。協力医による2週間に1度の定期往診や、週1回の訪問看護を受け入れている。受診が必要な時は職員が送迎し、家族が同伴することもある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師はおりませんが、週1の訪問看護時に情報や気づきを相談、医師へ伝えて頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にはホームでの様子・情報をご家族のご理解の上、病院へ提供しております。また、定期的に病院関係者へ連絡を取り、病状把握や退院のめど等情報を頂けるよう努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期を迎えた利用者様のご家族へは医師の方から病状説明をして頂いた上で十分に話し合いをし、考えて頂き、方針の決定ができるよう支援させて頂いております。スタッフは方針に沿い、出来る限りの支援を行うようにしております。	終末期の治療方針や病状を主治医から家族に説明し、同意を得ている。全職員が看取りに対応できるよう、年1回外部講師を招いて勉強会を行っている。また、外部研修に参加し、ミーティングや申し送りの中で周知している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時の対応マニュアルを作成し備えております。事例があった後や、勉強会で対応方法の確認をし実践力が身に付くよう努めております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災だけでなく、水害・地震を想定しての避難訓練を行っています。勉強会ではホームの立地場所の確認をし、どんな災害が想定されるか確認しました。	年2回、夜間想定の下、利用者も参加して避難訓練を行っている。水害時の避難経路の確認を行ったり、災害時のDVDや資料を使って研修したりしている。備蓄品は事業所内に保管してある。	消防署の立ち合いによる訓練や地域の人の参加に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳と礼儀、その方を大切に思う気持ちを忘れず、一人ひとりを尊重した接し方を心がけております。	誘導時、声の大きさに配慮したり、耳が聞こえない利用者には紙に書いて伝えたりするなど工夫している。申し送りの時、個人情報が入り込まないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が思いや希望を言いやすいよう、また選択しやすい声掛け、雰囲気作りに努めております。ご本人の言葉や表情から思いをくみ取れるよう努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し、柔軟な対応に努めております。起床や食事の時間をずらすこともありますし、入浴もご本人様の気持ち、体調等を考慮し支援させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	日常の整容に気を配り、さりげなくお手伝いをさせて頂いております。ご本人様が着たい服を選べるよう支援させて頂いております。ファッション関係の広告と一緒に楽しむ時間も設けています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を話題にしたり、食べたい物を聞いたりメニューも一緒に考え、食事が楽しみなものになるよう努めております。味見をして頂いたり、簡単な調理手伝いをして頂くこともあります。	できるだけ利用者と一緒に近くのスーパーへ食材を買いに出かけている。利用者と職員は同じテーブルで同じ物を一緒に食べている。管理栄養士が作成した献立にアレンジを加えたり、利用者に合わせて形態を変えたりしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に適した食事量、形態でお出ししております。食が細い方へは好みの物や食べやすい物をお出しする等、個別に対応させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声を掛けさせて頂き、必要な方へは見守りや介助等し、清潔が保てるよう支援させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用い、個々の排泄パターンを把握し、また仕草や表情等から排泄サインを見逃さないようにし、個々のタイミングでトイレでの排泄が出来るよう支援に努めております。	個々の排泄パターンを把握し、日中はほぼ全員がトイレで排泄を行っている。入居時から比較して改善した例もある。ポータブルトイレは夜間のみ使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	海藻類や野菜等の食物繊維を食事に盛り込み自然な排便が出来るよう支援させて頂いております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日に関係なく、入浴支援しております。利用者様のペースを大切に、無理なお誘いはせず、気持ちよく入浴して頂けるよう心掛けております。	一日おきに入浴支援を行っている。入浴を嫌がる場合は、個々に合わせて時間や曜日、職員を変えて対応している。入浴剤や季節湯(ゆず湯)など、楽しんで入浴できる様に工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体力を考慮し、午睡の時間を設けたりソファに横になる等、その方にとって最適な休息時間がとれるよう心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情書から服用されている薬の情報を得、常に個々の服薬情報の把握に努めております。薬剤師と密に連携し、情報交換させて頂いております。服薬時には声に出して名前・日付等を確認し、誤薬のないよう気を付けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の興味のあること、出来ることに目を向け無理のない程度に活動ができるよう支援させて頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物、カラオケ、ドライブ等、その方が喜んでくれそうなプランをスタッフ皆で考え、外出支援に努めております。	家族と一緒にドライブに出かけたり、職員と一緒に買い物に出かけたりしている。利用者や家族から出た意見や希望を参考に、各利用者に合わせて外出支援を計画・実行している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持を希望される方にはご家族了承の上所持して頂いております。買い物に行った際には支払い支援をしながらご本人に支払いをして頂くよう心掛けております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎ、年賀状や手紙のやりとりができるよう支援させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにソファを配置しどなたでもゆったりとくつろいで頂ける空間を作っております。窓からは山が見えます。飛んでいる鳥を眺めたり空を眺めたり、プランターの花を眺めたり季節を感じて頂けるようになっております。	リビングには家庭的な家具が配置され、さりげなく季節が感じられるよう、利用者に配慮した作品が掲示されている。また、リビング内は綺麗に整理整頓され、利用者が安全に移動できるよう動線にも配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファの他、椅子もいくつか配置しておりますので皆さん思い思いの場所で過ごされています。居室で過ごされる方もおられ、皆さん自由に過ごしておられます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具を持ち込まれ、各々個性のある部屋になっており、扉を開けるとご自分の部屋であると認識されます。皆さんご自分の居室で落ち着いて過ごされております。	馴染みの布団や使い慣れた化粧品などが持ち込まれ、個々に合わせた落ち着きある居室になっている。ベッドを無くして、畳の部屋にすることも可能であり、利用者が居心地良く生活できる様に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒防止等、安全に配慮し家具の配置を考えております。居室やトイレには分かりやすいようにプレートが掛けてあります。		